

2012

5月6日(日) 11時～17時

場所 松山市堀之内(城山公園内)

■タイムスケジュール

10:00～ 機数席チケット販売開始

11:00～ 屋台、B級グルメ店、
観光ブース(愛媛県、松山市)開展

13:00～ オープニング(野球サンバ、虎舞、水軍太鼓他)

13:50～ 神輿・牛鬼入場

15:00～ 式典
パフォーマンス(神輿鉢合せ等、宇和島牛鬼)

15:10～ 総練
三本締め

17:00～ 神輿退場

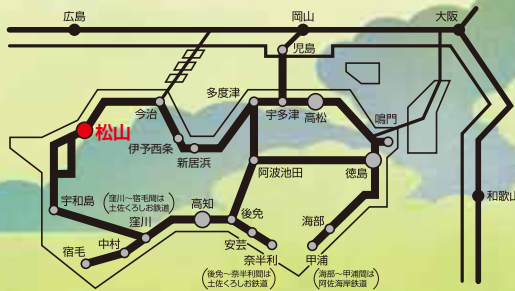
※まつりを飾る、屋台も花をそえています。お楽しみください。

お問い合わせ／大神輿総練実行委員会
(公財)松山観光コンベンション協会内 TEL089-935-7511

■主催／大神輿総練実行委員会
■協力／公益財団法人松山観光コンベンション協会、伊豫之國松山水軍太鼓保存会、松山聖陵高等学校、琉球國祭り太鼓、Team MOGA
■後援／愛媛県、松山市、松山商工会議所、愛媛新聞、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
■参加団体【神輿】八町会(溝辺町大神輿、湯之町大神輿、道後村大神輿会、築山大神輿連合会、大唐人神輿、持田連合大神輿、小唐人大神輿、北小唐人大神輿連合会)、六町会(日之出町神輿保存会、長町大神輿會、新小栗大神輿會、井手神社山吹大神輿、雄郡神社大神輿新巴講、愛媛江戸神輿連合井天睦會)、睦味會(別府清水協宮會)、西長戸連合會、港大神輿、女神輿(みぞのべ女神輿、持田中神輿、天神花神輿、雄郡神社大神輿新巴講紅媛神輿、小野桜會、西長戸港女神輿)【宇和島牛鬼】丸穂牛鬼保存會、いよぎん牛鬼會【オープニング】松山水軍太鼓、琉球國祭り太鼓、虎舞(松山聖陵高等学校 郷土芸能同好會)、野球サンバ Team MOGA

大神輿総練

松山 四国愛媛



丸穂牛鬼保存会
丸穂牛鬼保存会は宇和津彦神社秋祭り10月29日で日本古く牛鬼の頭を使い又宇和島牛鬼祭り7月24日では日本古く牛鬼の頭を使い、こなす宇和島市を代表する牛鬼であります。今の宇和島市の牛鬼が存在するのも丸穂牛鬼保存会があればこそと言われています。これからもがんばります。なお松山の秋祭りにも7年連続で参加させていただいています。

丸穂牛鬼保存会

まるほうしおにほぞんかい



道後湯神社から宮出しされる北小唐人大神輿は、再興してから20周年をむかえることができました。地域の皆様の多大なるご協力によるものと、役員同心より感謝しております。今後は「魅せる祭り」を目指し、神輿、獅子、太鼓、紫色の法被の神輿守で道後のみならず、地域の秋祭りを盛り上げていきたいです。

北小唐人大神輿連合会

きたこうじんおのみこしれんごうかい



松山市の中心部を神域とする唯の赤神輿です。昭和30年代から中断していた喧嘩神輿を昭和60年に復活させ、今年で再興28年目を迎えます。大地の神「大國主命」「葉学の神」「少彦名命」を祀る道後温泉湯神社を守護社とし、「強く、正しく、美しく」を訓とした粋な神輿です。年に一度、たった1日だけの男の祭りを、全身で感じてみませんか？

小唐人大神輿

こうじんおのみこし



伊豫之國松山水軍太鼓は、昭和54年1月松山市制90周年を記念し、創作された松山の新しい郷土芸能であり、出陣・祈願・勝どき・平和・過潮の曲に、その昔・内海・活躍した河野水軍戦いドラを和太鼓で表現したもの。現在は「松山太鼓ばし」「神輿太鼓」「流星」等や、吹奏楽との合奏曲「松山賛歌」も含め、その曲目も15曲のほりです。松山旧市内の全小中学校は、太鼓配置されて、小中学校や社会人のグループにより市内各地の祭りやイベントで演奏されまわります。保存会では松山水軍太鼓の継承と、各太鼓グループ交流を目的に動いています。

伊豫之國松山水軍太鼓保存会

いよのくにまつやますいぐんたいこほぞんかい



「琉球國祭り太鼓」は沖縄のエイサーをベースに、空手の型を取り入れた独自の振り付けと、ダイナミックなパサパサで、今や沖縄を代表し、若者に圧倒的な人気を誇る太鼓集団です。昭和57年に沖縄市の泡瀬を中心とした若者達によって結成されて以来、全国各地に支部があり、海外にも支部があります。

琉球國祭り太鼓

りゅうきゅうこくまつたいこ



宇和島といえば牛鬼。伊予銀行は、毎年7月に開催される「うわじま牛鬼まつり」を盛り上げるため、昨年「いよぎん牛鬼會」を結成いたしました。「いよぎん牛鬼」は「頭」と「胴体」を「コボレートカラー」であるグリーンで統一すること、豊かな潤いある緑の大地をイメージし、力強さと華やかさをあわせ持った雄姿が特徴です。今回は、松山の神輿に負けぬよう、宇和島地区の精鋭メンバーで力一杯担がせていただきます。

いよぎん牛鬼會

いよぎんおにかい



日本最古の温泉
道後
四国松山



Team MOGAです。1998年に松山まつり初参加。以来、野球拳踊りや、野球サンバに例年参加し続けています。松山にちなんだ独自のコンセプトの野球拳や野球サンバは沿道の観光客の方々には間近で繰り上げられる「松山の踊り」と喜んで頂いております。今日は、この踊りで、大神輿総練りを応援いたします。今年度の野球サンバ優勝！みかんをモチーフにしたこの踊り、オレンジ頭のオレンジヤーと、みかんワール全開の子どもたち！！タイトルは、「みかん戦隊オレンジヤー！！」

Team MOGA

チームモガ



「虎舞」の起源は、現在より約400年前にさかのぼります。豊臣秀吉の朝鮮出兵のとき、松山城を築城した加藤嘉明が松山から出兵しましたが、兵士たちが虎に襲われて命を落としました。そこで虎狩りを行い、虎を討ち取ったのち、その頭と毛皮を秀吉に献上したところ、大に喜ばれたそうです。この虎狩りの様子を郷土芸能にしようとして「虎舞」が考案され、現在に受け継がれています。

松山聖陵高等学校郷土芸能同好会

まつやませいりようこうとうがっこうきょうとげいのうどうかい

みぞのべ女神輿

みぞのべおんこし



「みぞのべ女神輿」の秋祭りは溝辺町大神輿のお供から始まります。道後から帰った沢山の町内の人が迎えてくれる「お祭り広場」に神輿を担いで入場する時は胸がドキドキします。広場のイベントでは、よさこいソーランを踊ったり水軍太鼓を演奏したり大忙しです。私達の自慢の法被いかがですか？桜の花びらがカワイイでしょ！自分たちでデザインしました。元気な「みぞのべ女神輿」を応援してください。

持田中神輿

もちだちゅうのみこし



城下に栄える持田の町に、大中小と揃った持田の神輿。かつての青年神輿を受け継いで、女神輿を結成したのは平成9年。松山に数ある女神輿のうち「道後の華」と謳われる三つの神輿のその中で、神輿の大ききもの。ことながら、粋な鯉口を身にまとい、法被姿の伊達姿。熱い視線を身に担いで魅せるは我がらが持田中神輿。持田の女はここにあり！つなげよう無限のパワー！まつり人プロジェクト◎「道後温泉女神輿會」を立ち上げました。

